

三 溪 園 散 策

かめかめクラブ大和支部

三溪園は生糸貿易により財を成した実業家で茶人の原 三溪によって、1906年（明治39）5月1日に公開されました。175,000m²に及ぶ園内には京都や鎌倉などから移築された歴史的に価値の高い建造物が巧みに配置されています。（現在、重要文化財10棟・横浜市指定有形文化財3棟）

東京湾を望む横浜の東南部・本牧に広がる広大な土地は、三溪の手により1902年（明治35）頃から造成が始められ、1914年（大正3）に外苑、1922年（大正11）に内苑が完成するに至りました。三溪が存命中は、新進芸術家の育成と支援の場ともなり、前田青邨の「御輿振り」、横山大観の「柳蔭」、下村観山の「弱法師」など近代日本画を代表する多くの作品が園内で生まれました。その後、戦災により大きな被害をうけ、1953年（昭和28年）、原家から横浜市に譲渡・寄贈されるのを機に、財団法人三溪園保勝会が設立され、復旧工事を実施し現在に至ります。

散 策 日：2014年1月22日（水） 雨天中止

集合場所：JR京浜東北・根岸線 根岸駅 改札口

集合時間：10:30

参加費：300円 入園料 500円（65歳以上）300円 要証明

持ち物：昼食、飲み物、敷物、雨具等

申し込み：大和支部 浅川まで s.d.6711-asakawa@jcom.home.ne.jp



正面と三重塔



池の様子と建造物

